

福島第一原子力発電所 多核種除去設備における堰内漏えいについて

時系列

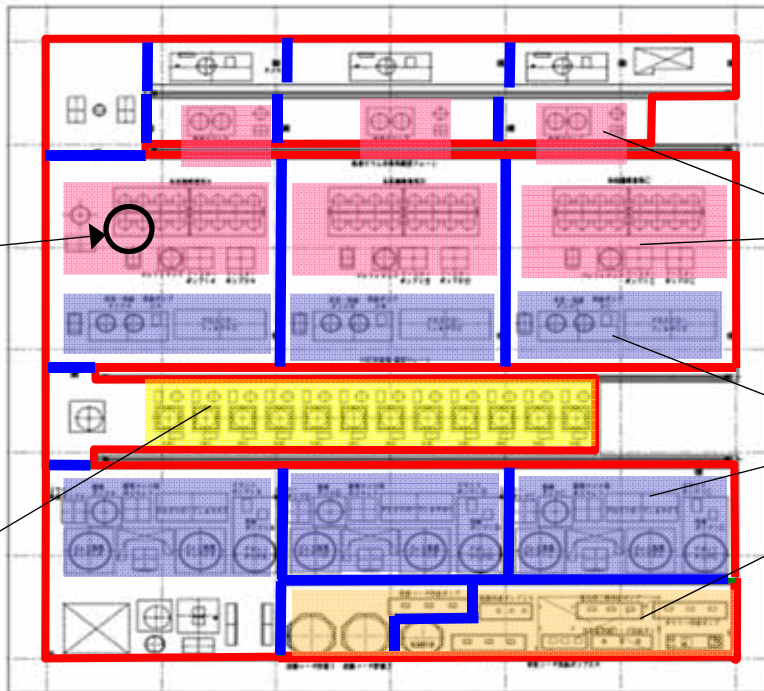
- ・ 2016年3月25日
 - 19時42分 多核種除去設備において、漏えい検知器が動作し「多核種吸着塔Aスキッド3漏えい」の警報が発生
 - 21時10分頃 当社社員にて、現場を確認したところ、当該漏えい検知器付近に水があることまた多核種除去設備A系の吸着塔6Aの下部に設置している配管のフランジから1秒に1滴程度の滴下があることを確認
建屋内全体が堰構造となっており、漏えいした水の建屋外への流出はない
 - 22時00分頃 水の滴下が確認された配管のフランジの増し締めを実施
 - 22時15分頃 フランジ部からの滴下が停止したことを確認
 - 23時46分 漏えいした水の回収作業を開始
 - ・ 2016年3月26日
 - 1時20分 漏えいした水の回収作業が終了
- 漏えい量
- ・ 漏えい量について、漏えい検知用の升（約20cm×20cm×深さ5cm）および床面の漏えい範囲（約2m×3m×深さ1mm）より、約8Lと推定
 - 漏えいした水の分析結果
 - ・ セシウム134：150 Bq/L、セシウム137：690 Bq/L、全ベータ：19,000 Bq/L
 - ・ 上記の分析結果より、漏えいした水については、多核種除去設備の系統内の水と判断
 - 原因
 - ・ 調査中

漏えい箇所



漏えい箇所

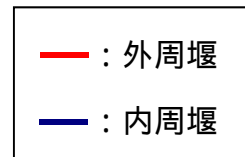
高性能容器



多核種除去設備（吸着塔）

前処理設備

薬液供給設備



現場の状況

<多核種除去設備（機器配置図）>

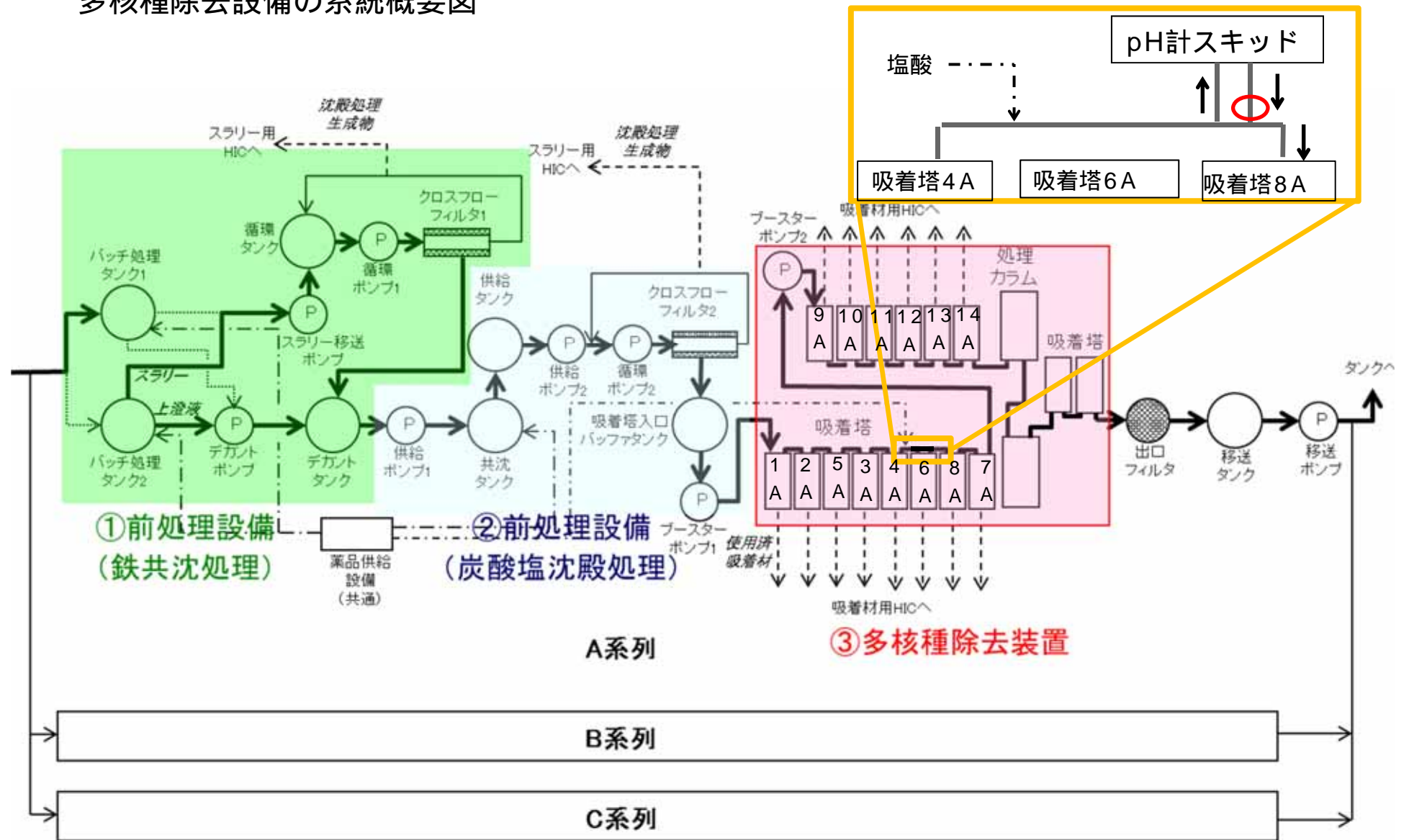


<配管フランジ>



<漏えいした床面の状況>

多核種除去設備の系統概要図



事象発生時の通水順序は4A 6A (バイパス) 8A